

職員による自己評価

保護者による評価

**A環境面**

- ・部屋の広さは十分とは言えないが、屋外の活動を組み合わせて行っている。
- ・職員の配置数、専門性は適切だ。

**B児童への支援内容**

- ・日々の支援内容について、また各個人についてのモニタリング等、情報共有は出来ている。
- ・役割分担、支援の確認、振り返りをおこなっている。活動プログラムが固定化しないよう、チームでプログラムの立案をおこなっている。

**C関係機関との連携**

- ・学校や他の利用事業者間とは必要に応じ情報の共有は出来ている。

**D保護者への説明責任・信頼関係**

- ・子どもの状況を伝えあい、課題について共通理解を持っている。

**E非常対応**

- ・緊急時対応マニュアルや災害に向けての訓練を行っている事への周知が十分ではない。

**A環境面**

- ・部屋の広さは適切だ。
- ・職員の配置数、専門性は適切だ。

**B児童への支援内容**

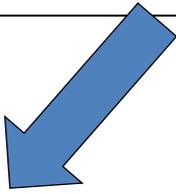
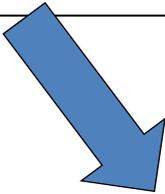
- ・子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析され計画を立てられている。

**C事業所からの情報発信**

- ・日頃から支援内容、子どもの状況が話され、お互いに共通理解できている。
- ・個人情報に配慮している。
- ・自己評価についてHPで公開されていることを知らない方がいる。

**D非常対応**

- ・非常時の対応について、十分に認識できているとはいえない。



事業所内での分析

【共通点】

- ・子どもの状況と課題、保護者のニーズをとらえ計画をたて支援している。
- ・子どもや保護者との意思の疎通は出来ている。
- ・非常時の対応について、十分な認識ができていない。
- ・地域との繋がりが弱い。

【相違点】



## 分析・検討してみたて…

### 事業所の強み

- ・保護者と、子どもに関する情報共有ができている。
- ・多彩なプログラムの提供。
- ・子どもの支援に対して、PDCA サイクルに職員が参画している。

### 事業所の改善点

- ・非常時、防犯、感染症対策等のマニュアルが保護者に十分に伝わっていない。
- ・これから、地域との繋がり、障害がない子どもたちとの繋がりなど、活動を広げていく。

### 事業所の改善への取り組み

- ・非常時、防犯、感染症対策等のわかりやすい簡潔なマニュアル作りをして、配布、説明をしていきたい。
- ・保護者のかたへのペアレントトレーニングなども含め、研修の充実を図っていきたい。
- ・長期休みなどの時間の都合がつきやすい時に、地域の取り組み（例えば、お祭りなど）や他の子どもたちの集団と繋がるような機会を見つけて一緒に活動していきたい。

### ～自己評価を行っての事業所としての感想など～

情報はより丁寧に、細かく伝えていかなければなかなか周知していただくまでには至らないものだと感じています。自己満足に終わるのではなく、保護者の方のニーズをしっかりとらえ、また伝えたいことのポイントをはっきりさせて伝えていきたいと思います。

子どもたちが、来所することを楽しみにしてくれていることを励みに、保護者の方・学校・地域との連携のなかで子どもたちと一緒に成長していけるよう、職員一同頑張ります。

事業所名 天王町あけぼの園

担当者 和田恵子